

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立瓜破東小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査や小学校学力経年調査の結果分析において、学力向上の課題として「基礎・基本的事項の理解と定着」「学習意欲の向上」「学習・生活習慣づくり」が挙げられる。また、学力と相関関係にある「自尊感情の育成」も重要である。
- 安定した学校生活を過ごすために、その基盤となる健康的な生活（体力づくり、食に関する指導、基本的生活習慣の確立）を保護者（家庭）と連携した取り組みを推進する。
- 集団生活を通して「規範意識」「社会性」「良好な人間関係（いじめの克服）」を育む。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり（規則）を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度より10%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率（平均点）7割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度より10ポイント減少させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、30%以上にする。
- 小学校経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和3年度より4ポイント向上させる。 ※全国平均を1とした時の割合
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、65%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「学校のきまり（規則）を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、87.5%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年前年度より 0.05 ポイント向上させる。
- 小学校経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 小学校経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30%以上にする。
- 小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- デジタル教材を活用した学習を週 1 回実施する。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 75%以上にする。
- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
- 小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、65%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立瓜破東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「学校のきまり（規則）を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする</p> <p>○小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、87.5%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>決まりを守って安全に気持ちよく学習したり生活したりできるように「生活・学習の約束」を全教職員で指導する。</p>	
<p>指標 「生活・学習の約束」のふり返りを、学校生活アンケートの中で学期に1回行い、結果を指導に役立てる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】</p> <p>異学年とのふれあい活動の工夫と充実を図っていくために、高学年をリーダーにした縦割り活動に積極的に取り組んでいく。</p>	
<p>指標 集会活動や学校行事などで、縦割り活動やペア学年活動を学期に1回以上行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度に向けての改善点

大阪市立瓜破東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年前年度より 0.05 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○小学校経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 30%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査・学校生活アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>授業研究会や指導力向上のための研修会を年間計画に基づいて実施し、研究授業後の協議会や研修会での議論を活発に行う。また、伝達講習会を行い、各教職員が研修した内容を、他の教職員に広める機会を設ける。</p> <hr/> <p>指標 年間計画に基づいて、授業研究を実施し、協議会の形式を工夫しながら、指導力向上のための研修に取り組み、すべての教員が年1回以上、自主的に授業公開を行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>体育の授業で体力づくりの運動に積極的に取り組むだけでなく、体育学習カードを活用したり、運動週間を実施したりして、児童の日々の運動に対する意識を高めていく。</p> <hr/> <p>指標 学校生活アンケート「運動場で友だちと遊んだり、体を動かしたりすることができましたか」の項目について、「できた」・「だいたいできた」と答える児童の割合を 70%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度に向けての改善点

大阪市立瓜破東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（小・中学校） ○デジタル教材を活用した学習を週1回実施する。 ○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を75%以上にする。 ○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 ○小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、65%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】 ICT機器を活用し、児童に分かりやすい授業を構築するとともに児童が積極的にタブレットを活用できるようにする。 ----- 指標 デジタル教材を活用した学習を平均で週3回実施することにより、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が50%以上になるようにする。	
取組内容②【基本的な方向番号7、人材確保・育成としなやかな組織づくり】 授業研究会や指導力向上のための研修会を計画的に実施し、討議会や研修会での議論を活発に行う。また、伝達講習を通して必要な知識・技能を共有する。 ----- 指標 メンターを中心に若手研修を年間5回以上実施する。スクールアドバイザーを活用し指導力を高める。特別支援教育研修、人権に関する研修を校内で実施するとともに外部研修の伝達講習を必要に応じて実施する。	
取組内容③【基本的な方向番号8、生涯学習の支援】 児童が興味関心をもつことができるような読書環境を整え、読書活動を活性化させていく。 ----- 指標 小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、65%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を75%以上にする。 ----- 指標 「ゆとりの日」（ノー残業デー）を週に1回設定・実施する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間中は2日以上設定する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度に向けての改善点

